

大人の心も子どもの心も優しくなれる、たったひとつの物語



一人が幸せに、みんなが幸せ
にと、祈りの声が響いてくる
映画です。
立松ねず

製作：NPO法人地球のステージ
株式会社オフィスラフトQUA

医師・桑山紀彦が紛争地や被災地で出会った人たちは…

地球のステージ ありがとうの物語

監督 佐藤威一郎

文部科学省選定 国連難民高等弁務官駐日事務所 推薦 財団法人日本ユニセフ協会 推薦
日本PTA全国協議会 特別推薦 厚生労働省社会保障審議会推薦 児童福祉文化財 日本医師会 後援



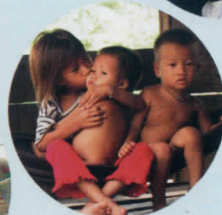
映画「ありがとうの物語」上映会のご案内

日時： 8月27日（土） ① 13:00～ ② 15:00～
会場：コープこうべ生活文化センター2階ホール
参加費：無料
お申し込みは：兵庫県ユニセフ協会 電話：078-435-1605

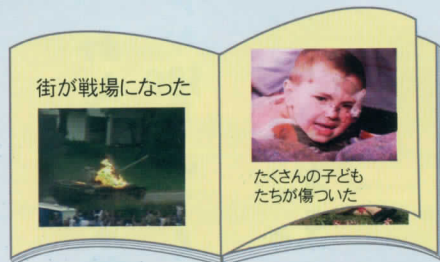
地球のステージ ありがとうの物語

本当の幸せってなんだろう…。

5歳のとき、両親にすてられたフィリピンの少女・メリジェーンと2歳年上の兄アレマール。暴動で家を焼かれ、テント生活を送っている東ティモールの少年レオやバルタザール。地雷で左手を吹き飛ばされてしまったカンボジアのプリエム。6歳のとき、戦争の恐怖から言葉を失ったクロアチアのプリッサ。だれもが、厳しい現実を背負って生きている。しかし、驚いたことに、だれもくじけていなかった。みんな命を輝かせていた。そんな子どもたちのエネルギーに圧倒された。そして、思わずつぶやいた。「本当の幸せってなんだろう…。」 カラー/HDサイズ/100分



世界各地で続く紛争、貧困。そこに生きる子どもたち。母が子に語り聞かせる童話のように、子どもたちの命の鼓動が静かに胸に響いてくる…。いつからか私たちはこの映画をドキュメンタリー童話と呼ぶようになった。



医師・桑山紀彦

地球のステージ

医師・桑山紀彦さんは 毎年、紛争地や被災地、スラムでの医療活動が続けている。活動の支えになっているのが、そこで出会う子どもたちの笑顔だ。そんな体験を桑山さんは自作の歌と映像と語りのライブ“地球のステージ”で伝えている。私たちは桑山さんと一緒に世界各地をまわった。子どもたちの笑顔と出会うために…。戦争や貧しさに翻弄されながらも懸命に生きている子どもたちの命と向き合うために…。

「見終って、爽やかな風を感じました。子どもたちの姿に心を揺さぶられました。でも、みんなボクが日本で出会う沢山の子もたちと同じなんだということに気がつきました。あの子たちに実験を見せたらどんな笑顔が飛び出してくるだろう？ ピックルして飛び上がってしまうかな…。彼らに会いに行きたくなりました。子どもたちの生きる力を信じさせてくれる映画です。」
(サイエンスプロデューサー 米村でんじろう)

「子どもたちのまっすぐな命は、妥協という文字を知りません。この映画は、日本でほとんど映画化されたことのない難民キャンプや、国内避難民の子どもたちの貴重な映像をはじめ、紛争地や被災地の子どもたちの生き様のすばらしさに“ありがとう”の物語です。」
(国連難民高等弁務官事務所 UNHCR 駐日事務所)

「不思議なことに、私は、鑑賞中に何度も微笑んでいました。淡々と事象を捉えていくように、奥深いところにある博愛が感じられ、とても優しい気持ちにさせられました。全編に流れる桑山さんの歌声も効果的です。包み込むような、愛情一杯の作品です。」
(キネマ旬報社長 小林 光)

監督の言葉

最近、暗く悲しい事件が相次いでいます。殺人、いじめ、自殺、すぐにきれて暴力をふるう人々、他人への無関心…。いつからともなくスタッフの間で、「こんな時代、誰もが優しく温かい気持ちになれるような映画をつくりたい。生きる元気がでてくるようなものをつくりたい。」そんなことを考えるようになりました。そんな思いを込めてつくったのがこの映画です。映画では、画面いっぱい子どもたちの笑顔があふれています。その笑顔から生きることの素晴らしさ、命の大切さを感じてほしい。それが、この映画にこめた私たちの願いです。



自主上映のお願い

学校での上映や地域のイベント、また、会社の社会貢献活動などでぜひ、たくさんの方々にこの映画をご覧いただきたいと願っております。自主上映してくださる方を募集しております。事務局まで御連絡お願いいたします。